PIXELA CORPORATION

StationMobile™

for W-ZERO3[es]

取扱説明書

目次

はじめに

安全上のご注意 4
- 安全のための注意事項を守る 4
- 定期的に点検をする 4
- 故障したら使用しない 4
- 異常があった場合は 4

警告表示について 5

ソフトウェア製品使用許諾 6
- 許諾事項 6
- 禁止事項 6
- 契約の終了 7
- 保証と免責 7

本書について 7

地上デジタル放送の受信地域について 7

商標について 8

制限事項 8

著作物・映像・画像データの使用について 8

StationMobile をはじめよう

StationMobile でできること 9
- ワンセグ放送の視聴 9
- 字幕サービス 9
- 電子番組表 (EPG) の表示 9

内容品の確認 10

基本操作について 11
- W-ZERO3[es] 本体のキー操作 11
- StationMobile 画面でのタップ操作 12

StationMobile のインストール 13
- インストールに必要な環境 13
- インストールをはじめよう 13

チューナーユニットの取り付け 19

初回起動時の設定 21

起動と終了 25
起動する 25
終了する 26

StationMobile の画面構成

表示モード 27
各部名称と機能 28
インフォメーションバー 28
ワンセグ放送映像ビュー 28
データビュー 29
操作バー 30
チャンネルバー 30
表示モード切替バー 31

StationMobile 操作ガイド

ワンセグ放送を見る 32
チャンネルを切り替える 32
表示モードを切り替える 33
音量を調節する 34
チャンネルを設定する 35
チャンネルリストを選択する 35
新しくチャンネルリストを作る 36
その他の設定（詳細情報画面） 39
「詳細情報」画面 39

付録

困ったとき 41
こんなときは？ 42
仕様一覧 43
ハードウェア仕様一覧 43
サポート情報 43
ユーザーサポートについて 43
ホームページついて 43
著作権に関する注意 44

はじめに

このたびは、「StationMobile for W-ZERO3[es]」(以下、本製品または「StationMobile」) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、お使いの W-ZERO3[es] の USB ポートにチューナーユニット (以下、本機) を接続することで、ワンセグ放送をお楽しみいただけます。本製品を正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書（以下、本書）をご覧ください。

安全上のご注意

本製品は安全に充分に配慮して設計されていますが、間違った使い方をすると火災や感電などにより、人身事故を引き起こす可能性があり大変危険です。事故の発生を防ぐために次の点を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

P5 の「警告」、「注意」の内容をよくお読みください。本製品全般の注意事項が記載されています。この注意事項を守り、正しくご使用ください。

定期的に点検をする

本機取り付け時、また使用を始めてからも、定期的に、本機の端子部分にホコリなどがつまっていないかを点検してください。また、W-ZERO3[es] の USB ポート側もあわせて点検してください。

故障したら使用しない

正しく動作しなくなった場合や、破損していることに気付いたら、すぐにピクセラ ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

異常があった場合は ...

本製品を使用中に異常があった場合は次のように対処してください。

- W-ZERO3[es] から本機をはずす。
- ピクセラ ユーザーサポートセンターに問い合わせる。

警告表示について

本書では、安全にご使用いただくために次のような表示をしています。人や財産への危害、損害の発生を防ぐために表示の内容をよく理解し、本文をお読みください。

⚠警告	この表示は「**火災や感電などにより死亡または重傷を負う可能性が想定される**」内容です。
⚠注意	この表示は「**注意事項を守らないと感電やその他の事故により、ケガや家財に損害を与える可能性が想定される**」内容です。
🛇	行為を**禁止**する記号です。
❗	行為を**指示**する記号です。

⚠警告

下記の項目は「**火災や感電などにより死亡または重傷を負う可能性が想定される**」内容です。

記号	禁止事項	理由・対処方法
🛇	本機の分解や改造、修理などは絶対にしないでください。	火災や感電の原因になります。修理は弊社までご相談ください。
🛇	本機上面や近くに液体容器や金属類を置かないでください。	本機の内部に入り、火災や感電の原因になります。
🛇	本機の内部に金属類や燃えやすいものを入れないでください。	火災や感電の原因になります。
🛇	落下などで破損した場合は、使用しないでください。	火災や感電の原因になります。修理は弊社までご相談ください。
🛇	本機の内部に指などを入れないでください。	ケガや感電、故障などの原因になります。
🛇	ぬれた手で、本機に触れないでください。	感電の原因になります。
🛇	屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。	感電の原因になる恐れがあります。
🛇	本機の破損原因となる、下記の行為はしないでください。 本機を傷つける、落とす、強い衝撃を与える、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど	傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。修理については、弊社までご相談ください。
🛇	本機は根元まで完全に差し込んでください。傷んだプラグ・ゆるんだ状態では使用しないでください。	感電や発熱による火災の原因になります。
❗	差込部分の埃などは、定期的に掃除してください。	火災の原因になります。モバイル端末から取り外し、乾いた布でふいてください。
❗	本機や付属品は、小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。	けがの原因になります。
❗	液体・異物などが内部に入った場合は、すぐに本機をモバイル端末から取り外してください。	そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。修理は弊社までご相談ください。
❗	変な臭いや音がしたり煙が出た場合は、すぐに本機をモバイル端末から取り外してください。	そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。修理は弊社までご相談ください。

⚠注意 下記の項目は「**注意事項を守らないと感電やその他の事故により、ケガや家財に損害を与える可能性が想定される**」内容です。

記号	禁止事項	理由・対処方法
⊘	直射日光の当たる場所や極端に温度が高くなる場所、極端に温度の低い場所では使用しないでください。	火災や故障の原因になります。
⊘	電子レンジや、高圧容器などの中に入れないでください。	発火・故障・火災の恐れがあります。
⊘	湿気や埃の多い場所や加湿器のある場所では使用しないでください。	火災や感電の原因になります。
⊘	重たいものを載せたり、通風孔をふさぐなどして、風通しの悪い状態で使用しないでください。	本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。
⊘	振動や衝撃のある場所や傾斜しているなど、不安定な場所に本機を置かないでください。また、その様な場所で本機を使用しないでください。	落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
⊘	自転車、バイク、自動車などの運転中、歩行中などはワンセグ放送を利用しないでください。	事故などの原因になります。
❗	大音量で長時間使用しないよう、気をつけてください。	聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
❗	輸送、開梱、焼却時には、パッケージの取り扱いに気を付けてください。	紙の端で手などを切り、けがの原因になります。
❗	鞄などに本機を入れる場合は、アンテナを収容してください。	破損して、けがの原因になります。

ソフトウェア製品使用許諾

本製品をインストールする前に、このソフトウェア製品許諾書（以下、本契約）を必ずお読みください。
本ソフトウェアをインストールする場合は、お客様が以下の内容にご同意いただいたものとさせていただきます。
お客様は、本契約の下記使用許諾条件にしたがって、ソフトウェアプログラム（以下、本プログラム）並びに取扱説明書などの付属物を使用する譲渡不能な非独占的権利を株式会社ピクセラより許諾されます。

許諾事項

お客様に本プログラムを 1 台のコンピュータにインストールして利用する権利を非独占的に許諾いたしますが、この権利を第三者に譲渡することはできません。
お客様は、バックアップの目的でのみ、著作権に関する表示が元の状態のまま残されることを条件に、コンピュータ読み取り可能な形態で本プログラムを 1 部複製できます。
本ソフトウェアで使用している専用フォントは、本ソフトウェアでのみ使用することを許諾します。

禁止事項

本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。
お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
お客様は、本プログラムおよび付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

契約の終了

お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を廃棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

保証と免責

本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、いかなる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

本書について

- ◆ 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- ◆ 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不備な点や誤りなどにお気付きになりましたら、ユーザーサポートセンターまでご連絡ください。
- ◆ 本書では、Windows Mobile および W-ZERO3[es] の基本的な操作については記載しておりません。ウィンドウの操作など、基本操作は一般的な操作に準拠しております。
- ◆ 本書に使用している画像は、はめ込みの場合があります。
- ◆ 本書で使用しているソフトウェアの画面は製品開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。
- ◆ お使いの環境によって、本書の記載内容と実際の表示や動作が異なる場合があります。
- ◆ 本書で使用しているマークは次のとおりです。

	特にご注意していただきたい内容について記載しています。
	本文内容の補足や参考にしていただきたい内容について記載しています。
	本書内で参照していただきたい項目について記載しています。

地上デジタル放送の受信地域について

地上デジタル放送の受信地域と開局予定については、下記の URL でご確認ください。

■ 社団法人 地上デジタル放送推進協会　URL: http://www.d-pa.org/

商標について

◆ Windows ® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows ® の正式名称は Microsoft ® Windows ® Operating System です。

◆ W-ZERO3[es] は株式会社ウィルコムの商標または登録商標です。

◆ その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。

◆ 本書では ® および TM などの商標マークは省略させていただいております。

制限事項

◆ 本製品は SHARP 製 W-ZERO3[es] 及び W-ZERO3[es] プレミアムバージョン (WS007SH) 専用です。

◆ 本製品はワンセグ放送が開始されている地域で、放送波が届く範囲で受信できます。

◆ 本製品は、日本国内のワンセグ放送専用です。BS、110 度 CS デジタル放送、地上アナログ放送、衛星デジタル放送などを見ることはできません。

◆ 受信できる放送局の番組表（EPG）をすべて同時に表示することはできません。

◆ 本製品は、番組の録画・録画予約・視聴予約・データ放送には対応しておりません。

◆ ワンセグ視聴可能エリア内のすべての環境において、受信性能を保証するものではありません。

◆ W-ZERO3[es] のファームウェア等のバージョンを常に最新状態にして、本製品をお使いいただくことをおすすめいたします。

◆ 本機のアンテナ入力端子に、BS アンテナ用電源等が重畳された信号線を接続しないでください。

◆ 本機の USB インターフェースを延長する場合は、製品付属の接続ケーブルを使用してください。

◆ 本機の USB 接続部（U 字部分）を 90 度以上曲げると破損の恐れがあります。無理に曲げないでください。

◆ チューナーユニット取り付け用プレートは、いったん接着後取り外すと、接着力が低下し、本機を固定できなくなる場合があります。

著作物・映像・画像データの使用について

◆ 本製品付属の CD-ROM に収録されているデータは、著作権法に基づいて著作権にともなうすべての権利が保護されています。著作権利者以外の第三者が著作権利者の許諾無しに販売、レンタル、譲渡、複製を行うことはできません。著作権法に違反する行為は、刑事罰の対象となりますのでご注意ください。

◆ 本製品付属の CD-ROM に収録されているデータは、お客様が個人で使用する場合に限り、使用を許諾されます。本製品付属 CD-ROM に収録されている画像データなどをお客様が商用として複製使用することはできません。また、お客様がデータを一部修正、改変したものを商用として使用することはできません。

StationMobile をはじめよう

StationMobile でできること

ワンセグ放送の視聴

「StationMobile」では、W-ZERO3[es] の USB ポートに専用チューナーユニットを装着してワンセグ放送を見ることができます。外出先でも、地上デジタルテレビ放送と同じ内容の番組を見ることができます。

字幕サービス

ワンセグ放送では、番組によって字幕情報が含まれているものがあります。
「StationMobile」では、字幕を表示しながら番組を見ることができます。また、複数の字幕情報が含まれる場合は、表示したい字幕を選ぶこともできます。

電子番組表 (EPG) の表示

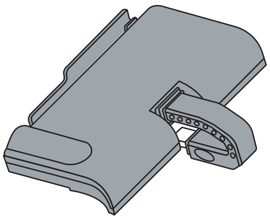
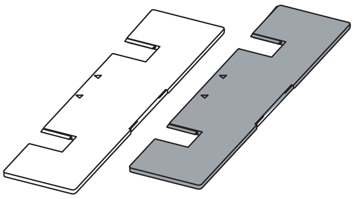
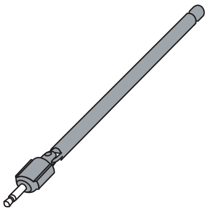
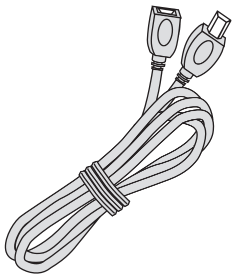
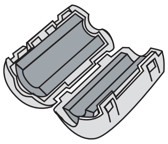
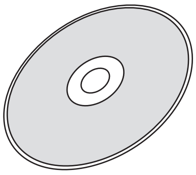
EPG とは「Electronic Program Guide (電子番組表)」の略で、画面上で最新の番組表を表示することなどができるサービスです。「StationMobile」では、現在受信している番組とそれ以降の番組情報を表示することができます。

ワンセグ放送とは

ワンセグ放送とは、地上デジタル放送のサービスの 1 つで、携帯電話、ノートパソコン、カーナビなどの移動端末向けに設計された放送波です。ワンセグ放送には、移動中でも安定した映像の受信ができるという特長があります。「StationMobile」では、地上デジタル放送で放映されている番組や字幕サービスなどを見ることができます。

内容品の確認

本製品には、以下の内容品が含まれています。ご使用の前に内容品に不備がないか確認してください。

チューナーユニット 1 個	プレート（白・黒） 各 1 枚	ロッドアンテナ 1 本
		
接続ケーブル 1 本	フェライトコア 1 個	ソフトウェア CD-ROM 1 枚
		
セットアップガイド 1 枚	保証書 1 枚	ユーザー登録カード 1 枚

※ 万が一、内容品に不備があった場合は、ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

基本操作について

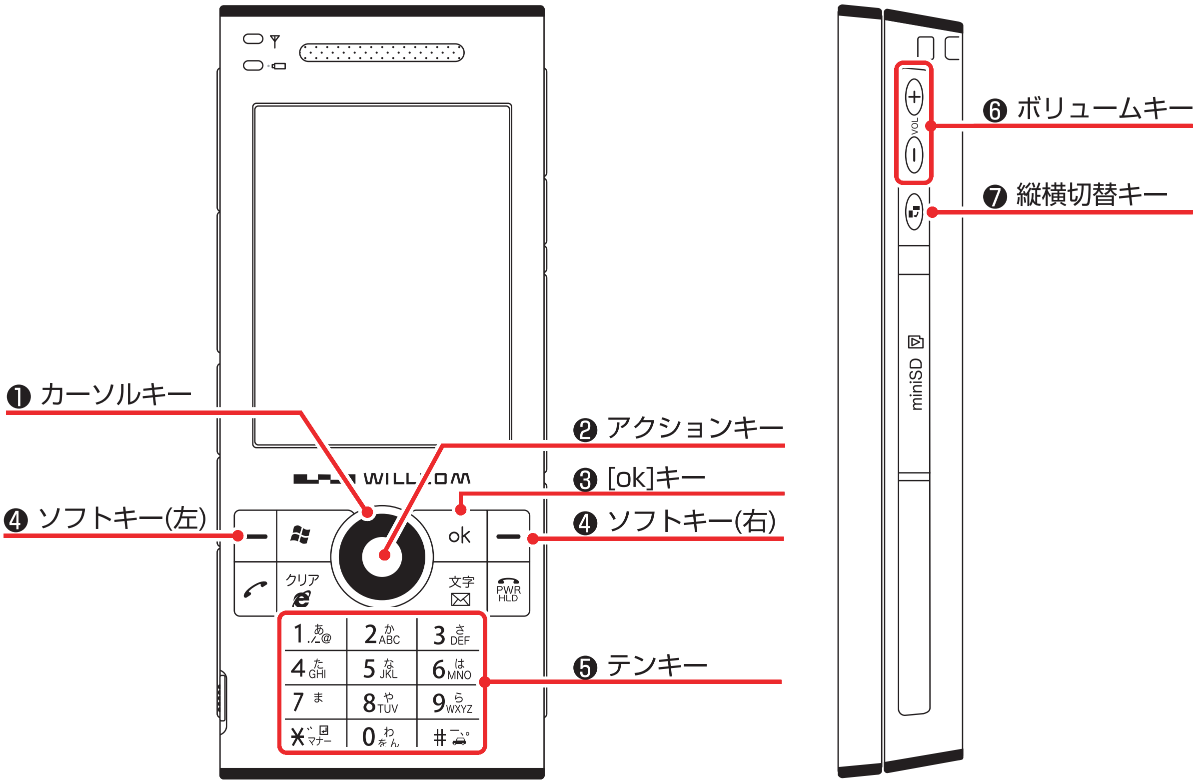
「StationMobile」を操作するには、「StationMobile」画面内のボタンやアイコンをタップする方法と、W-ZERO3[es] 本体のキーで操作する方法があります。

W-ZERO3[es] 本体のキー操作

「StationMobile」は、W-ZERO3[es] 本体のキーを利用して操作することができます。

本書内で「キー操作」による操作方法として特記している場合は、右記のアイコンで表記しています。	キー操作では

「StationMobile」の操作で利用するキーと、その役割は次の通りです。



❶	カーソルキー	チャンネルリストに保存された放送局の順にチャンネルを切り替えます。 また、番組表 (EPG) ビューなどの選択時に、リストをスクロールすることもできます。(キーを上 (左) ／下 (右) に動かします) ※「チャンネルリスト」については「P35」をご参照ください。 ※「番組表 (EPG) ビュー」については「P29」をご参照ください。
❷	アクションキー	選択されたメニューを実行します。
❸	[ok] キー	表示中のダイアログ画面を閉じたり、「StationMobile」を終了します。
❹	ソフトキー (右)(左)	画面上のボタンや設定項目のフォーカスを前後に移動します。(パソコンの [タブ] キーと同様の動作をします)
❺	テンキー	割り当てられたチャンネル番号（ワンタッチ選局キー）を押すと、番組が切り替わります。 ※「ワンタッチ選局キー」については「P37」をご参照ください。
❻	ボリュームキー	音量を調整します。
❼	縦横切替キー	「全画面モード」に切り替えます。また、「全画面モード」の場合は、切り替える前の表示モードに戻ります。 ※「表示モード」については「P27」､表示モードの切り替え方法については「P33」ご参照ください。

StationMobile 画面でのタップ操作

「StationMobile」の画面に表示されたボタンに触れる（タップする）ことで操作できます。

本書内で「タップ操作」による操作方法として特記している場合は、右記のアイコンで表記しています。	タップ操作では

各ボタンの名称や機能の説明については、「P28」以降をご覧ください。

StationMobile のインストール

「StationMobile」を W-ZERO3[es] にインストールするには、付属のソフトウェア CD-ROM を使用し、お持ちのパソコンから W-ZERO3[es] にインストールします。

インストールに必要な環境

「StationMobile」をインストールするには、ActiveSync がセットアップされたパソコンが必要です。ActiveSync は、W-ZERO3[es] 付属のアプリケーションで、W-ZERO3[es] とパソコンのデータを同期させるために使用します。ActiveSync のセットアップについては、W-ZERO3[es] 付属のマニュアルをご参照ください。

※ ActiveSync は、最新バージョンをご利用ください。

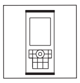
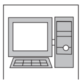
※「StationMobile」のインストールには、Microsoft .NET Framework 2.0 および Windows Installer 3.1 が必要です。これらのプログラムがパソコンにインストールされていない場合、「StationMobile」のインストールの前に自動的にインストールされます。

■ 用意するもの

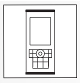
・W-ZERO3[es] および W-ZERO3[es] に付属の AC アダプタ、USB ケーブル
・CD-ROM ドライブの接続されたパソコン
・「StationMobile」ソフトウェア CD-ROM

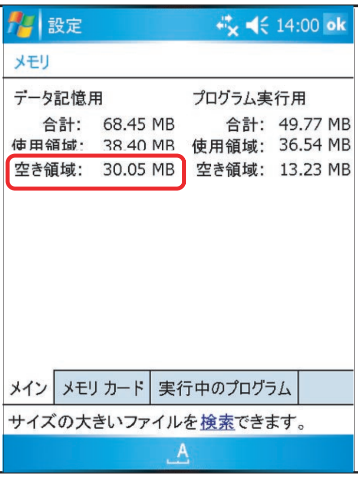
インストールをはじめよう

「StationMobile」のインストール手順では、W-ZERO3[es] で作業する内容と、パソコンで作業する内容があります。手順内では、以下のアイコンで表記しています。

	W-ZERO3[es] で操作する手順です。
	パソコンで操作する手順です。

1 W-ZERO3[es] のデータ記憶用メモリの空き領域を確認する





[スタート] → [設定] を開きます。

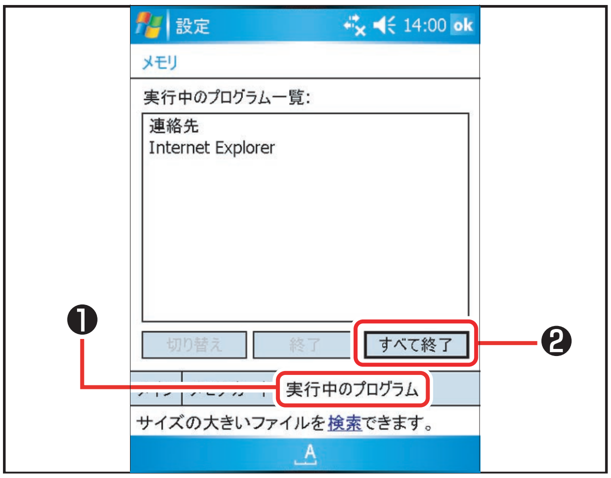
[システム] タブから [メモリ] アイコンを選択します。

データ記憶用メモリの空き容量が、インストールに必要な容量（約 10MB）以上あることを確認します。

メモリが不足している場合

不要なファイルは削除するなどして、空き容量を確保してからインストールしてください。

2 W-ZERO3[es] のすべてのプログラムを終了する

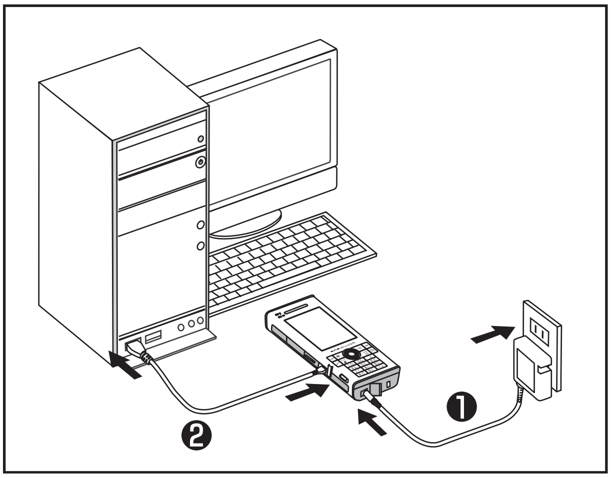


❶ [実行中のプログラム] タブに切り替えます。

❷ [すべて終了] をタップし、アプリケーションが起動していない状態にします。

※ 負荷を軽くし、インストールをスムーズに行うためです。

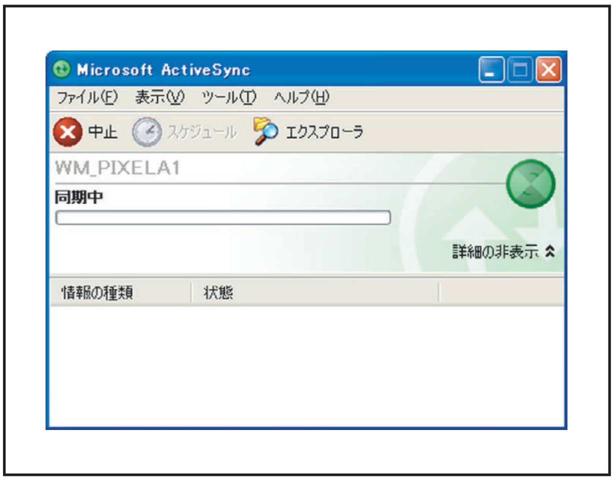
3 W-ZERO3[es] とパソコンを接続する



❶ W-ZERO3[es] に AC アダプタを接続します。

❷ W-ZERO3[es] に付属の USB ケーブルを使って、パソコンと W-ZERO3[es] を接続します。

4 ActiveSync を接続する

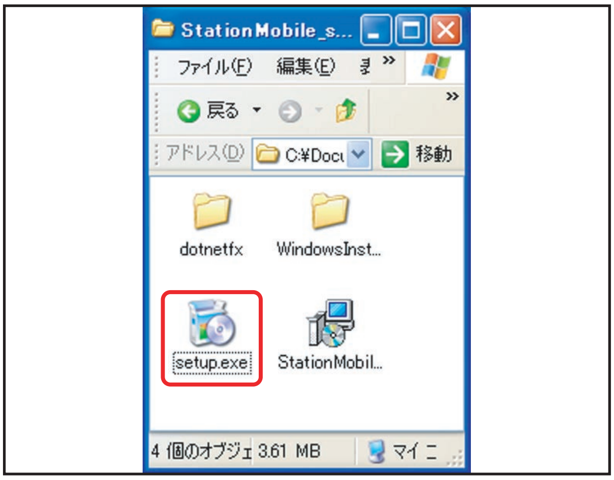


W-ZERO3[es] をパソコンに接続すると、自動的に ActiveSync が起動し、接続が確立されます。

ActiveSync の同期について

接続と同時に同期が開始された場合は、一度 [中止] するか、同期を最後まで完了させます。

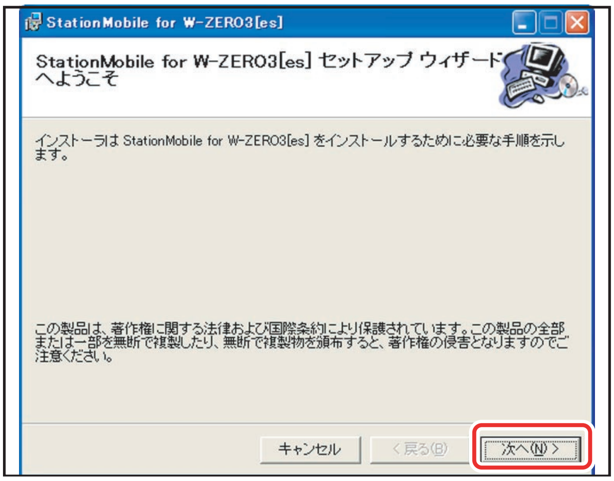
5 StationMobile インストール用ツールをパソコンにインストールする



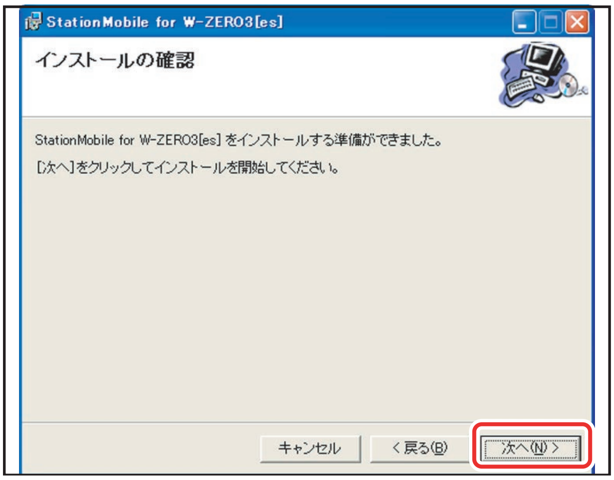
❶ パソコンの CD ドライブに、付属のソフトウェア CD-ROM をセットし、CD-ROM 内の[Setup] フォルダから、[setup.exe] をダブルクリックします。

この [setup.exe] について

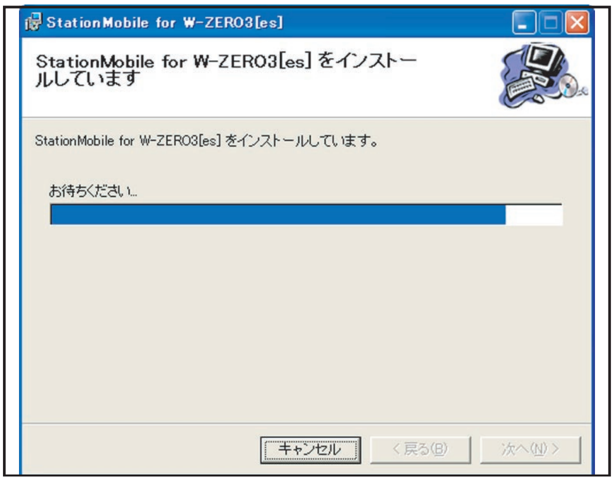
この [setup.exe] はパソコン上で実行します。
実行すると、「StationMobile」のアプリケーションプログラムが、ActiveSync 経由で W-ZERO3[es] にコピーされるようになります。



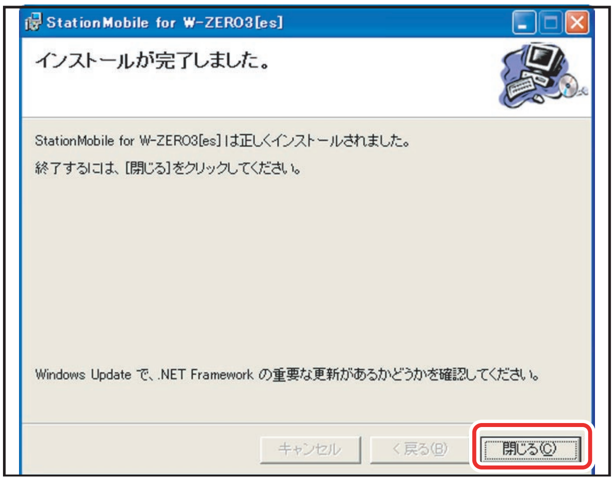
❷ セットアップウィザードが表示されるので、[次へ] をクリックします。



❸ 画面の案内にそって進みます。
[次へ] をクリックします。



❹ ツールのインストールが始まります。



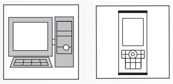
❺ インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。

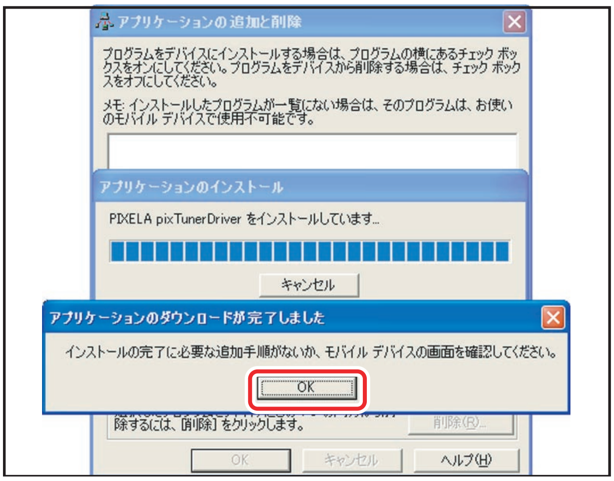
※「インストールが完了しました」の画面と同時に、「アプリケーションの追加と削除」のウィンドウが表示されます。続けて次のステップへ進みます。

「StationMobile」インストール用のツールを削除する

「StationMobile」インストール用のツールは、パソコン上では「StationMobile for W-ZERO3[es]」という名前でインストールされます。アンインストールするには、[スタート]-[設定]-[アプリケーションの追加と削除] から行います。

6 ActiveSync で StationMobile を W-ZERO3[es] にコピーする





ActiveSync が接続されていると、自動的に「StationMobile」のコピーが実行されます。

「アプリケーションのダウンロードが完了しました」のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

自動でコピーが実行されない場合

ActiveSync が接続されていない場合、または接続が切れてしまった場合は、「StationMobile」のコピーは実行されません。

次に W-ZERO3[es] をパソコンと同期させた時に実行されます。

※ お使いのパソコンの OS 環境によって、ActiveSync の動作が異なる場合があります。

7 W-ZERO3[es] で「StationMobile」のインストールを実行する

「StationMobile」のアプリケーションプログラムがコピーされると、W-ZERO3[es] の画面がインストール待機状態になっています。

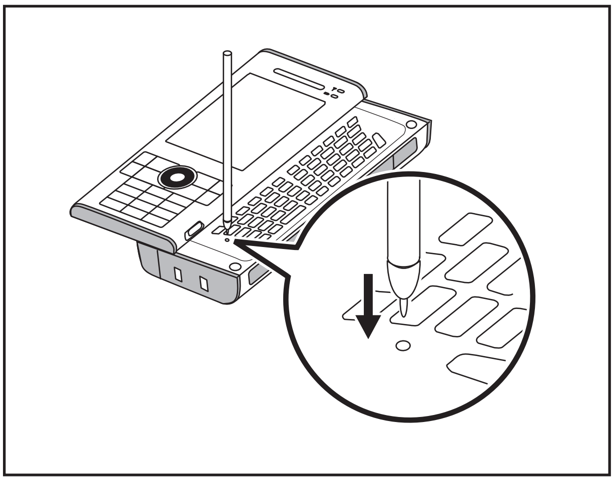
❶ インストールする場所に [デバイス] が選択されていることを確認し、[インストール] をタップします。

インストールする場所の選択画面

インストールする場所の選択画面は、miniSD カードなどを W-ZERO3[es] に挿入している場合のみ表示されます。また、「StationMobile」を [デバイス] 以外にインストールした時の動作保証はしておりません。

❷ インストールが完了したら [ok」をタップし、画面を閉じます。

8 W-ZERO3[es] をリセット（再起動）する



リセットボタンを押して、W-ZERO3[es] を再起動します。

※リセットの方法についての詳細は、W-ZERO3[es] 付属のマニュアルをご参照ください。

以上で「StationMobile」のインストールは完了です。
次に「チューナーユニットの取り付け」へ進みます。

「StationMobile」のアンインストール方法

「StationMobile」を W-ZERO3[es] から削除するには、以下の手順で行います。

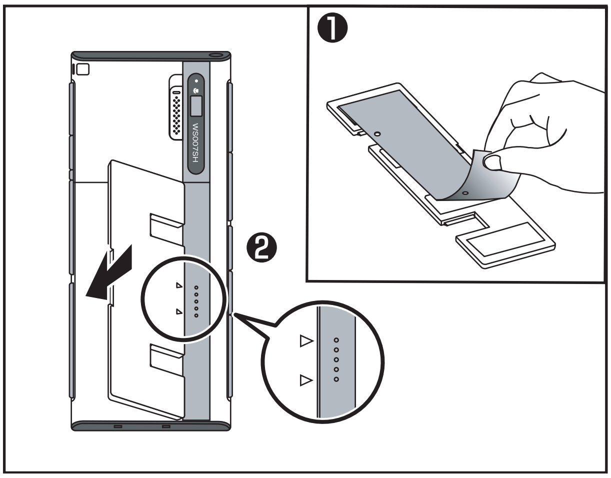
1）[スタート] メニューから、[設定] を選択
2）「設定」画面の「システム」タブ内、[プログラムの削除] を選択
3）「データ記憶用メモリにあるプログラム：」のリストから「PIXELA StationMobile」を選択し、
[削除] を選択

以上で、「StationMobile」のアンインストールは完了です。

チューナーユニットの取り付け

ワンセグ放送を受信するチューナーユニットを取り付けます。

1 チューナーユニット取り付け用プレートを貼り付ける

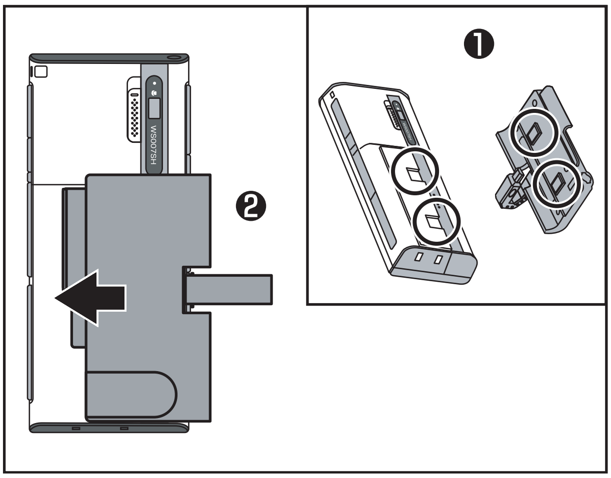


❶ プレートの両面テープの台紙をはがします。

❷ プレートを W-ZERO3[es] 本体に貼り付けます。

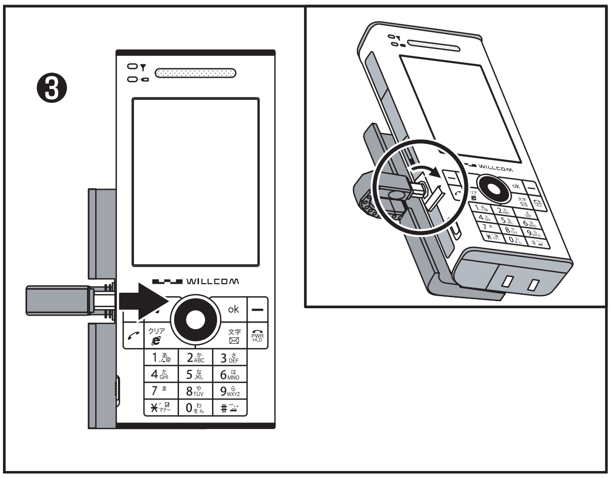
※ プレートの三角マークが、W-ZERO3[es] の 5 つの点の両端にくるように合わせます。（左図参照）

2 チューナーユニットを装着する



❶ プレート側の凹部分と、チューナーユニット凸部分を確認します。

❷ プレートとチューナーユニットの凹凸部分がかみ合うよう、まっすぐスライドしていきます。



❸ スライドしながら装着する途中で、チューナーユニットの USB 接続部分を、W-ZERO3[es] に差し込みます。

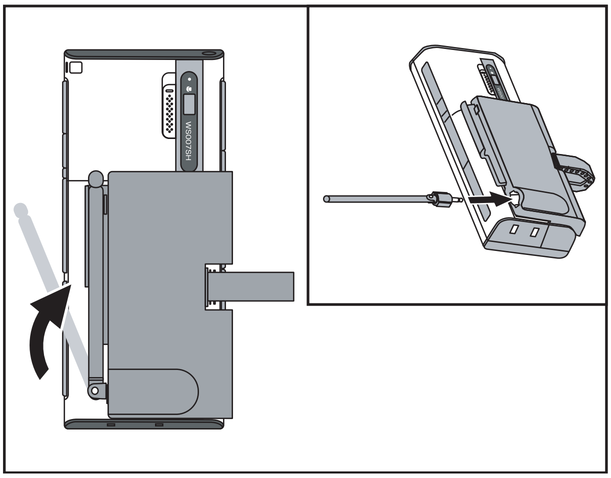
チューナーユニットの USB 接続部分について

チューナーユニットの USB 接続部分を 90 度以上曲げないでください。破損する恐れがあります。

接続時の注意

W-ZERO3[es] 本体の電源を入れた直後にチューナーユニットを接続すると、正しく認識されない場合があります。
電源を入れた後は 10 秒以上待ってからチューナーユニットを接続してください。

3 ロッドアンテナを装着する



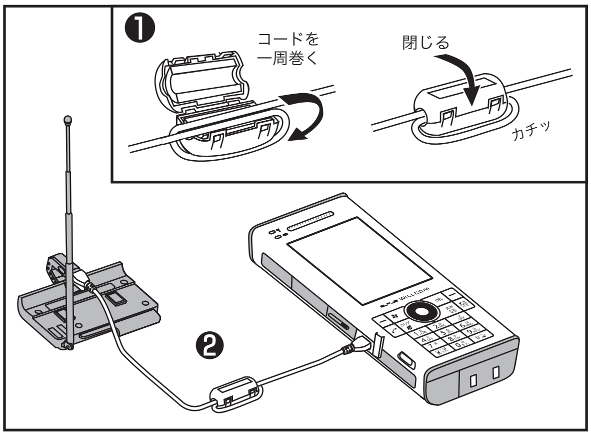
ロッドアンテナをチューナーユニットに差し込みます。

※ ワンセグ放送を視聴しない時は、アンテナを折り畳んで収納してください。

より良い受信状態で視聴するには

付属の接続ケーブルを使用すると、W-ZERO3[es] からチューナーユニットを離した状態で接続できます。ワンセグ放送の受信状態が悪い時などにアンテナの調節範囲が広がります。また付属のフェライトコアをあわせて取り付けることで、他の受信機器への干渉を低減することができます。

接続ケーブルおよびフェライトコアの取り付けは、以下のように行ってください。

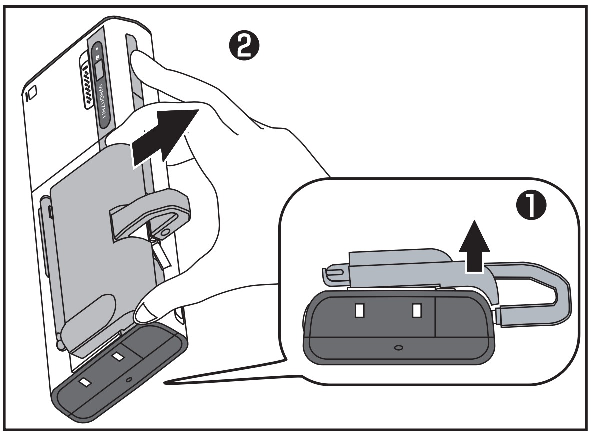


❶ 図のように、フェライトコアを開き、接続ケーブルの中央に取り付けます。（一周巻き付けます）

❷ 接続ケーブルを、W-ZERO3[es] の USB ポートおよび、チューナーユニットの USB 接続部分につなぎます。

チューナーユニットの取り外し

チューナーユニットを取り外す前に、必ず「StationMobile」を終了してください。
また、チューナーユニットの取り外しは、以下の要領で行います。



❶ チューナーユニットの両端をつかみ、W-ZERO3[es] 本体から少し (0.5mm 程度) 浮かせます。

❷ 浮かせたまま矢印の方向にまっすぐ引くと、USB 接続部分も一緒に、無理なく取り外せます。

※ チューナーユニットの裏面には、W-ZERO3[es] 本体にチューナーユニットを固定するための凹凸があります。取り付け、取り外しの際に無理な力を加えると、傷などの原因になりますので、十分ご注意ください。

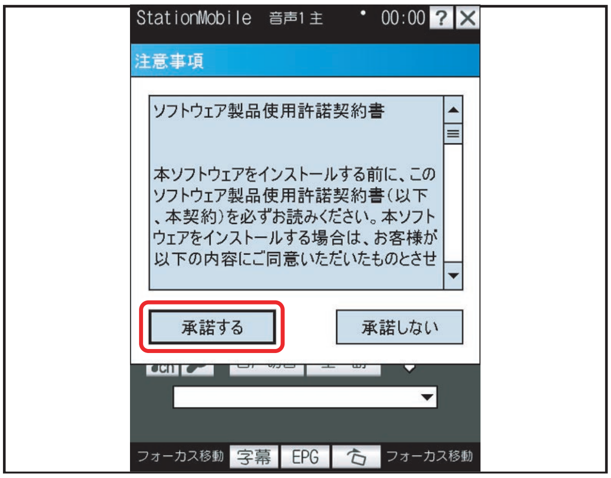
以上でチューナーユニットの取り付けは完了です。
次に「初回起動時の設定」へ進みます。

初回起動時の設定

1 StationMobile を起動する

[スタート] メニュー -[プログラム] -[StationMobile] を選択します。

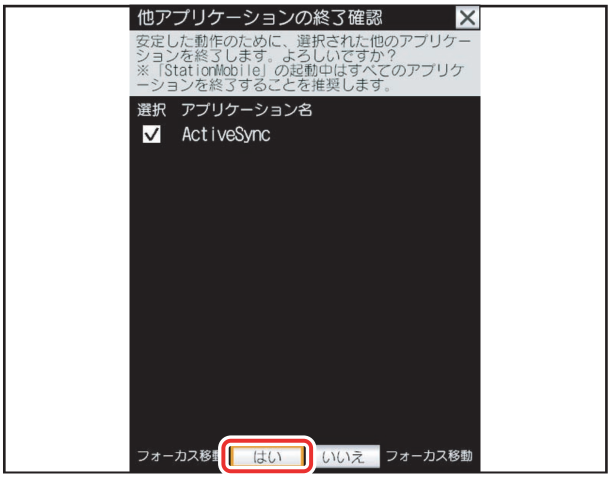
2 注意事項を承諾する



「ソフトウェア製品使用許諾契約書」の画面が表示されます。

契約内容を確認して、[承諾する] をタップします。

3 起動中の他のアプリケーションを終了する



起動中の他のアプリケーションがある場合、ダイアログが表示されます。

終了するアプリケーションを選択し、[はい] をタップします。（選択しないアプリケーションは終了されません）

※「StationMobile」の動作を安定させるため、すべてのアプリケーションを終了することを推奨します。

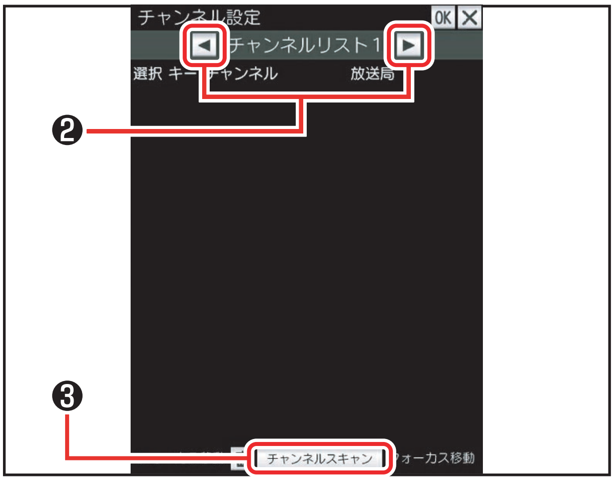
4 チャンネルスキャンをする

放送局をスキャンして、受信可能なチャンネルのリスト（チャンネルリスト）を登録します。

❶ [ok] ボタンをタップし、チャンネルリストの画面へ移ります。

チャンネルリストとは

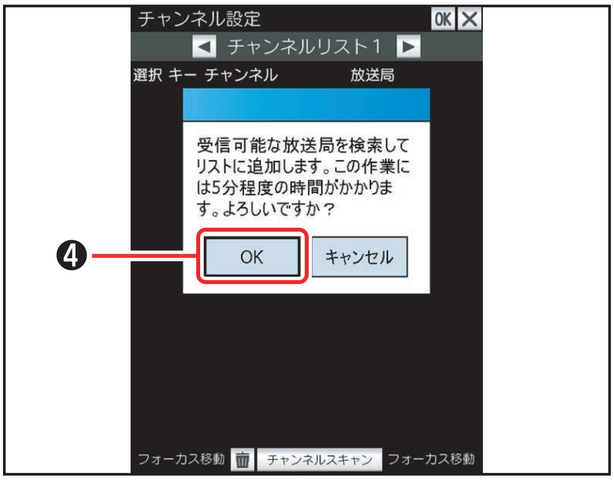
チャンネルリストとは、チャンネルスキャンによって受信した放送局を 1 つのグループとして記憶させたものです。お使いになる地域ごとにチャンネルリストを作成しておくと便利です。



❷ [◀][▶] ボタンで、リスト番号を選択します。

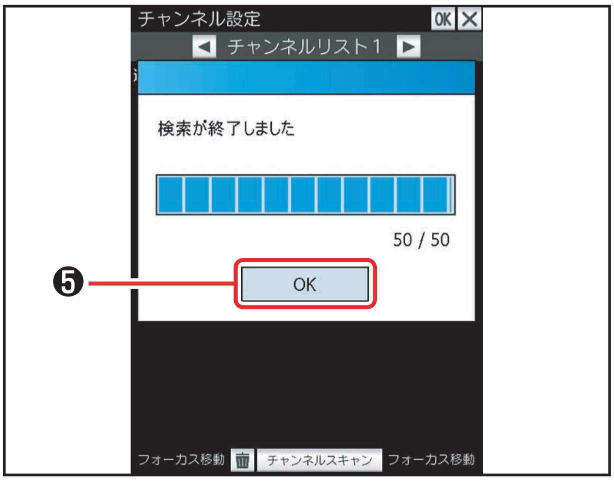
※ チャンネルリストは 5 つまで作成できます。

❸ [チャンネルスキャン] ボタンをクリックします。



❹ [OK] ボタンをタップし、チャンネルのスキャンを開始します。

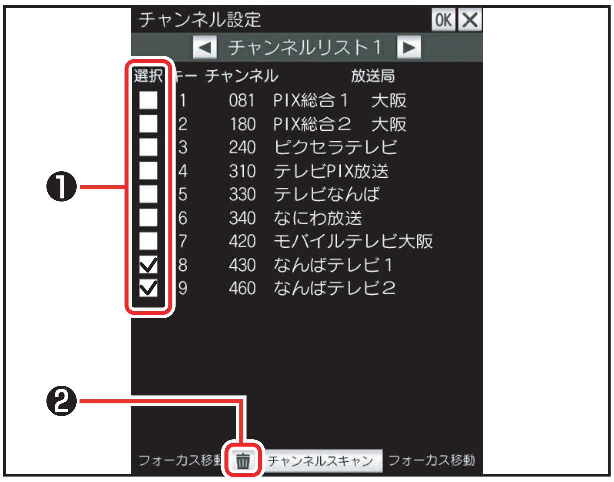
※ チャンネルスキャンには 5 分程度時間がかかります。



❺ チャンネルスキャンが完了したら、[OK] ボタンをタップします。

※ 受信できるチャンネルの一覧が表示されない場合は、受信状況に問題がある可能性があります。場所を変えてから、スキャンしてみてください。

5 スキャン結果から不要なチャンネルを削除する



❶ スキャン結果から受信しないチャンネルを選択します。

❷ [🗑] ボタンをタップします。

スキャン結果に同じ放送局名が複数表示された場合

同じ放送を複数の場所から放送している放送局がある場合、受信できた分だけリストに表示されます。視聴するときの受信状態によって使いわけたり、不要なものは削除するなどしてください。

6 ワンタッチ選局キーの割り当てを確認する

W-ZERO3[es] 本体のテンキーを使ってチャンネルを切り替える、ワンタッチ選局キーの割り当てを確認します。キー番号を変更する場合は以下の操作を行ないます。

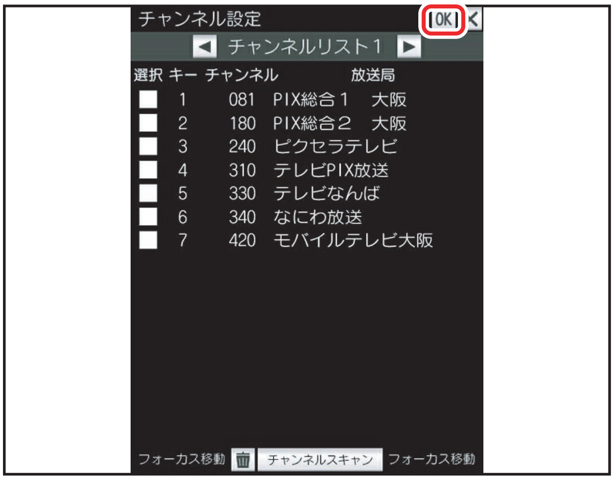
タップ操作では

[キー] の列をタップして、ドロップダウンリストからキー番号を選択します。

キー操作では

変更する [キー] が選択されている状態で、割り当てたい番号をテンキーから入力します。

7 チャンネルリストを確定する



[OK] ボタンをタップします。

※ 作成したチャンネルリストが有効になった状態で、「StationMobile」のワンセグ視聴画面が起動します。

[×] ボタンをタップすると

[×] ボタンは、「チャンネル設定」画面で行った操作をキャンセルし、元の視聴画面に戻ります。チャンネルスキャンの結果や、変更／修正内容などは保存されませんのでご注意ください。

以上で初回起動時の設定は完了です。

以降の操作方法をお読みになり、「StationMobile」でワンセグ放送お楽しみください。

起動と終了

起動する

StationMobile を起動する

❶ [スタート] メニュー -[プログラム] -[StationMobile] を選択します。

❷ 起動中の他のアプリケーションがある場合、ダイアログが表示されます。
終了するアプリケーションを選択し、[はい] をタップします。（選択しないアプリケーションは終了されません）

この画面を出さずに起動するには

「起動中の別アプリケーションを終了」ダイアログを表示せず、自動で他の起動中のアプリケーション終了して、「StationMobile」を起動するよう設定することができます。
詳しくは「その他の設定 (詳細情報画面)」(P39) をご参照ください。

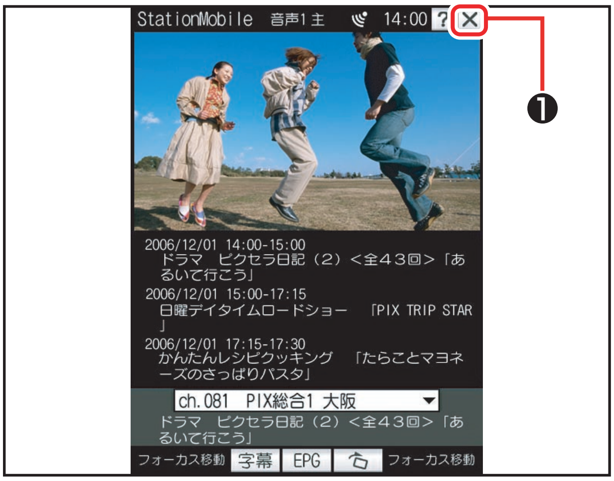
「StationMobile」が起動します。

すばやく起動するには

あらかじめ「StationMobile」をメニュー等に登録しておくと便利です。
※ メニューへの登録方法は以下の通りです。
1) [スタート] メニューから、[設定] を選択
2)「設定」画面の「個人用」タブ内、[メニュー] を選択
3) リスト内、「StationMobile」にチェックを入れる
次回から、スタートメニューのリストに「StationMobile」が表示されます。

終了する

StationMobile を終了する



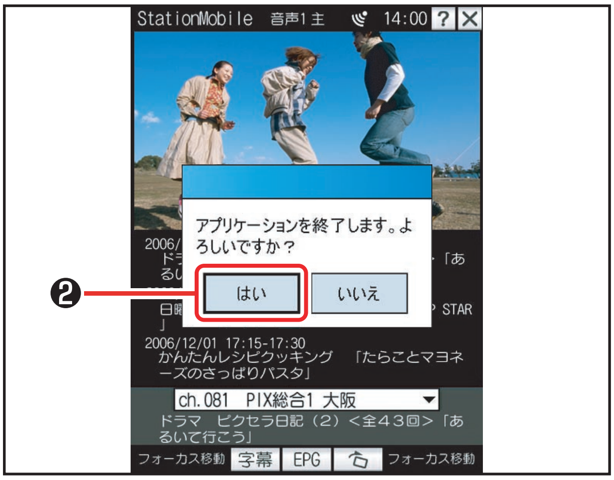
❶ 以下のいずれかの方法で、「StationMobile」の終了を実行します。

タップ操作では

画面の [×] をタップします。

キー操作では

[ok] ボタンを押します。



❷ 確認画面が表示されるので、[はい] をタップします。

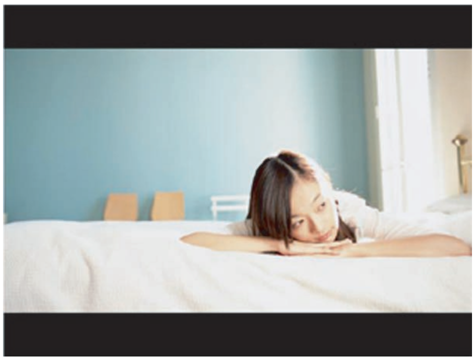
StationMobile の画面構成

表示モード

「StationMobile」には、以下の３種類の表示モードがあります。各画面や機能の説明については、「P28」以降をご参照ください。

■ EPG 表示モード　　　　■ 字幕・操作表示モード

■ 全画面モード



※ 全画面モードは横向き表示のみです。

表示モードの切り替え方法

表示モードの切り替え方法については、「P33」をご参照ください。

各部名称と機能

インフォメーションバー

「StationMobile」の画面最上部にあり、視聴状態についての情報などが表示されます。また、ヘルプ画面の表示や「StationMobile」の終了を行います。

番 号	項　目	説　明
❶	アプリケーション名 / ウィンドウ名	アプリケーション名や、表示中のダイアログ画面の名称が表示されます。
❷	複数音声表示	複数音声がある番組を視聴している場合、現在選択されている音声を表示します。 ※ 音声の選択は、操作バーから行います。詳しくは「P30」をご参照ください。
❸	多重音声表示	現在選択している音声（主音声 / 副音声 / 主 + 副音声）を表示します。 ※ 多重音声の選択は操作バーから行います。詳しくは「P30」をご参照ください。
❹	受信強度（アンテナ本数表示）	ワンセグ放送の受信レベルを 4 段階で表示します。 3 良好　2 普通　1 微弱　0 受信不可
❺	時刻表示	現在の日付と時刻を表示します。 ※ 日付と時刻はワンセグ放送の時刻情報を表示しているため、W-ZERO3[es] 本体の時計と異なる場合があります。
❻	?（ヘルプ）ボタン	「StationMobile」のヘルプを表示します。
❼	×（閉じる）ボタン	「StationMobile」を終了します。

ワンセグ放送映像ビュー

ワンセグ放送の映像が表示される部分です。受信される映像情報にあわせた縦横比率 (アスペクト比) で表示します。表示比率には「4:3」と「16:9」があります。

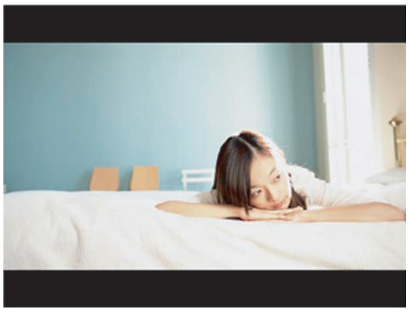
■ EPG 表示モード / 字幕・操作表示モードの場合

[16 : 9]

[4 : 3]

■「全画面モード」の場合

[16：9]



[4：3]

データビュー

番組情報 (EPG) や字幕データの情報を表示します。
字幕放送を見るには、表示モードを「字幕／操作 表示モード」に、番組情報を見るには「EPG 表示モード」に切り替えます。　※表示モードの切り替え方法については「P33」をご参照ください。

■ 番組表(EPG)ビュー
※ EPG 表示モード

■ 字幕ビュー
※ 字幕・操作表示モード

■ 番組表 (EPG) ビュー

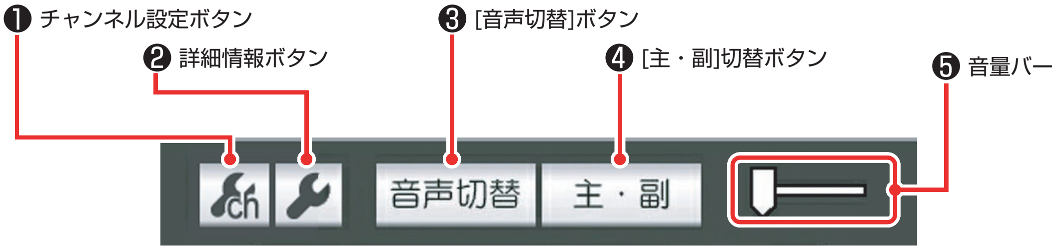
EPG とは「電子番組表」のことで、ワンセグ放送と同じ電波にのった番組表情報を「StationMobile」で受信し、画面上に表示します。
「番組表 (EPG) ビュー」では、現在視聴している放送局の番組プログラムを、2 〜 10 番組先まで取得して表示します。（表示される番組プログラム数は、放送内容によって異なります。）
「番組表 (EPG) ビュー」が選択されている状態で、W-ZERO3[es] 本体のカーソルキー [◉] を上 (左) ／下 (右) すると、内容をスクロールします。

■ 字幕ビュー

受信中のワンセグ放送に含まれる字幕データを表示します。
また、複数の字幕情報がある番組では、「詳細情報」画面から表示する字幕を選択することができます。
※「詳細情報」画面については「P39」をご参照ください。

操作バー

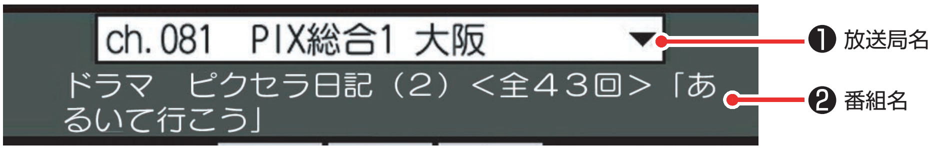
各設定の切り替えが可能です。



番号	項目	説明
❶	（チャンネル設定）ボタン	「チャンネル設定」ダイアログを表示して、チャンネルスキャンやチャンネルリストの編集をします。 ※ チャンネル設定についての詳細は「P35」を参照してください。
❷	（詳細情報）ボタン	「詳細情報」ダイアログを表示します。 ※ 詳細情報についての詳細は「P39」を参照してください。
❸	音声切替 (音声切替) ボタン	複数音声番組の場合、ボタンをタップするたびに [音声 1] → [音声 2] → [音声 3] → [音声 4] → [音声 1]. . . と音声が切り替わります。 インフォメーションバーの複数音声表示が連動して切り替わりますが、複数音声のない番組ではボタンをタップしても表示は切り替わりません。
❹	主・副 (主・副) 切替ボタン	多重音声番組の場合、ボタンをタップするたびに [主 (音声)] → [副 (音声)] → [主・副 (音声)] → [主 (音声)]. . . と音声が切り替わります。 副音声のない番組でも、ボタンをタップするとインフォメーションバーの多重音声表示が連動して切り替わりますが、音声は主音声が適用されます。
❺	音量バー	音量バーのスライダーを左右にドラッグして音量を調節します。消音するには、スライダーを左端に移動させます。

チャンネルバー

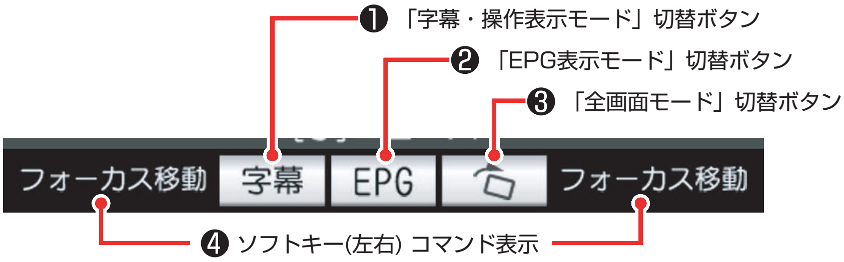
現在視聴中の放送局名と番組名を表示します。放送局名の欄はドロップダウンリストになっており、ここからチャンネル切り替えができます。



番号	項目	説明
❶	放送局名	現在選択されている放送局名が表示されます。 タップすると、チャンネルリストに保存されている放送局の順にドロップダウンリストが表示され、選局することができます。 ※チャンネルリストについての詳細は「P35」をご参照ください。
❷	番組名	現在視聴中の番組名が表示されます。 また、電波の受信状況に応じて以下の情報が表示されます。 「休止中」...................... 放送終了などで、放送局から電波が出ていない状態です。 「放送確認中」............. 電波を受信中です。しばらくお待ちください。 「圏外」......................... 電波を受信できません。場所を変えてお試しください。

表示モード切替バー

各ボタンで表示モードの切り替え、またはワンセグ放送画面を全画面で表示します。



番号	項目	説明
❶	[字幕] ボタン	「字幕 / 操作表示モード」に切り替えます。
❷	[EPG] ボタン	「EPG 表示モード」に切り替えます。
❸	[ ] ボタン	「全画面モード」に切り替えます。
❹	フォーカス移動	W-ZERO3[es] 本体の、ソフトキーの動作内容を表示しています。「StationMobile」では、ソフトキーで選択項目のフォーカスを前後に移動します。(パソコンの [タブ] キーの動作に相当します)

StationMobile 操作ガイド

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送を見るには、以下の点を確認してください。

◆ **ご覧になる地域のチャンネルリストを作成していますか？**
ご覧になる地域が変わると、受信できる放送局も変わります。チャンネルスキャンが完了していない場合は、「P36」をご参照ください。

◆ **受信状況に問題はありませんか？**
周囲に建物や壁などの遮へい物が多い場合は放送波を受信しにくくなります。受信状況の良い場所を探し、ロッドアンテナを十分のばしてご利用ください。
また付属の接続ケーブルおよびフェライトコアも状況に合わせてお使いください。

チャンネルを切り替える

チャンネル切り替えは、以下の手順で行います。

チャンネルを切り替える

タップ操作では

チャンネルバーをタップして、ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。

キー操作では

カーソルキー [◉] を上（左）／下（右）し、チャンネルリストの順で切り替えます。また、あらかじめチャンネル設定でキー番号（ワンタッチ選局キー）を設定しておくと、テンキーで切り替えできます。

※ チャンネル設定については、「P35」をご参照ください。

表示モードを切り替える

「StationMobile」の表示モードは、「表示モード切替バー」から切り替えます。

縦表示から各表示モードに切り替える

タップ操作では

「表示モード切替バー」から、切り替えたいモードのボタンをタップします。

字幕「字幕 / 操作表示モード」

EPG「EPG 表示モード」

「全画面モード」

※「全画面モード」のときは横方向の画面になります。

※ ワンセグ放送映像ビュー内をタップしても「全画面モードに」なります。

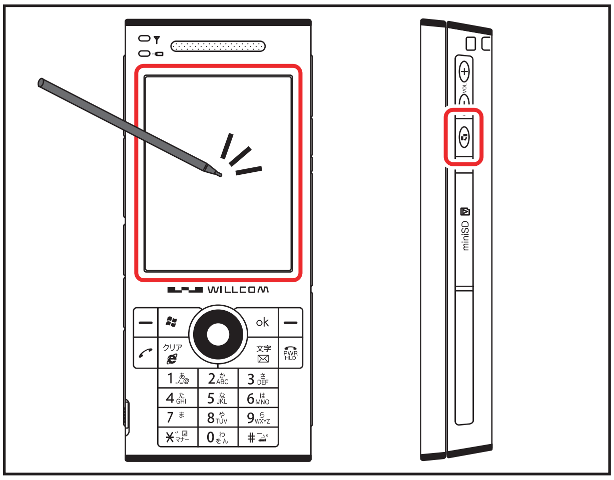
キー操作では

「全画面モード」への切替えのみ、縦横切替キー [ ] で操作できます。

W-ZERO3[es] のキーボードを出した時

「StationMobile」の起動中は、キーボードの出し入れによる画面方向の切り替え設定は無効になります。

全画面モードから縦方向の表示に切り替える



タップ操作では

画面上をタップします。

キー操作では

縦横切替キー [ ] を押します。

※「全画面モード」に切り替える前の表示モードに戻ります。

音量を調節する

音量を調節する

タップ操作では

❶「字幕 / 操作表示モード」に切り替えます。

❷ 音量バーのスライダーを左右にドラッグして音量を調節します。

※ 消音するには、スライダーを左端に移動させます。

キー操作では

側面にある [⊖VOL⊕] キーで音量を調節できます。

音量調節について

「StationMobile」上で調節する音量は、W-ZERO3[es] 本体の音量設定と連動しています。たとえば、W-ZERO3[es] の「Today」画面で音量をバイブレートに設定していた状態でも「StationMobile」を起動して音量を上げた場合、「Today」画面から音量オンにして上げた場合と同じ動作をしたことになります。

チャンネルを設定する

チャンネルリストとは、チャンネルスキャンによって受信した放送局を 1 つのグループとして記憶させたものです。チャンネルリストは最大 5 つまで作成することができます。お使いになる地域ごとにチャンネルリストを作成しておくと便利です。

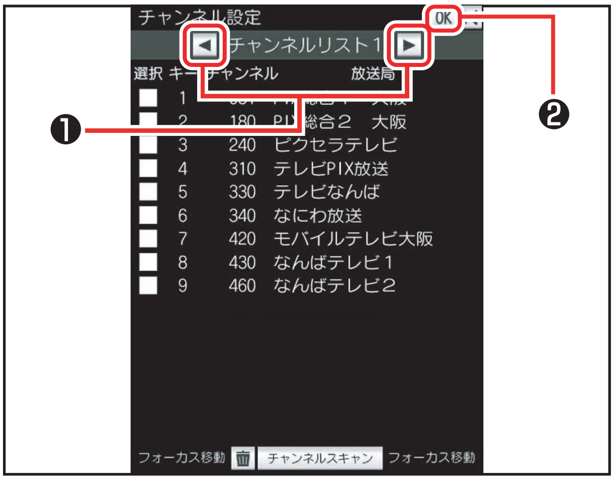
チャンネルリストを選択する

1 チャンネル設定画面を表示する

❶ [字幕] ボタンをタップし、「字幕 / 操作表示モード」に切り替えます。

❷ [ch] をタップし、チャンネル設定画面を表示します。

2 チャンネルリストを選択する



❶ [◀] [▶] ボタンをタップし、視聴したいチャンネルリストを表示します。

❷ [OK] をタップすると選択されたチャンネルリストが有効になった状態で、元の視聴画面に戻ります。

※ [✕] をタップすると、表示したチャンネルリストを有効にせず、チャンネル設定画面を閉じます。

新しくチャンネルリストを作る

通常のテレビ放送と同様に、ワンセグ放送でも地域によって受信できるチャンネルが異なります。ワンセグ放送をはじめて受信する地域などでは新しくチャンネルリストを作る必要があります。

1 チャンネル設定画面を表示する

❶ [字幕] ボタンをタップし、「字幕 / 操作表示モード」に切り替えます。

❷ [ ] をタップし、チャンネル設定画面を表示します。

2 新しいチャンネルリストの番号を選択する

チャンネルリスト名の [◀] [▶] ボタンで何番のチャンネルリストでスキャンするかを選択します。

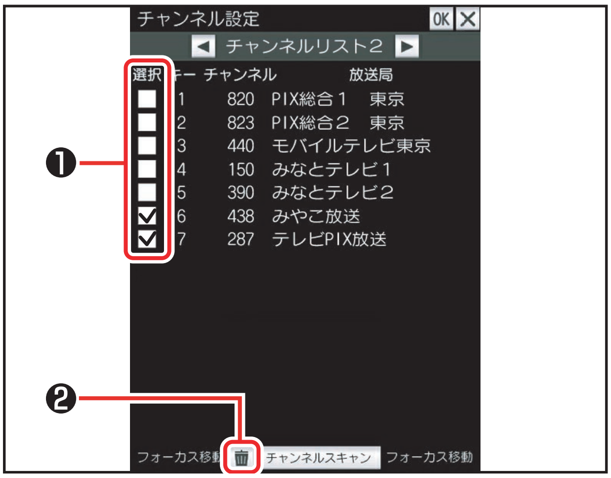
※ チャンネルリストに固有の名前をつけることはできません。

3 チャンネルスキャンを実行する

[チャンネルスキャン] ボタンをタップします。

※ 受信できるチャンネルの一覧が表示されない場合は、受信状況に問題がある可能性があります。場所を変えてから、スキャンしてみてください。

4 スキャン結果から不要なチャンネルを削除する



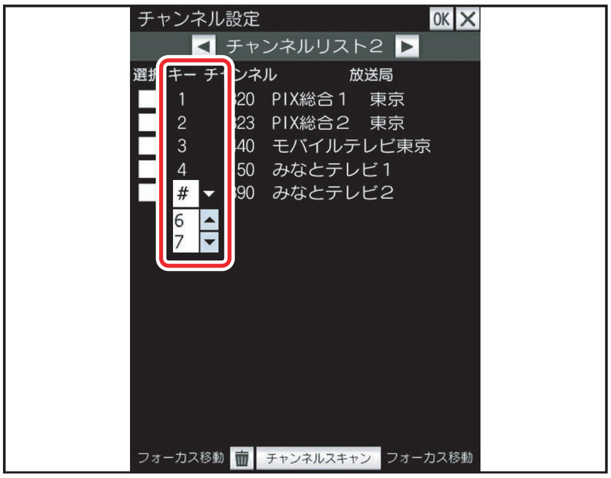
❶ スキャン結果から受信しないチャンネルを選択します。

❷ [🗑] ボタンをタップします。

スキャン結果に同じ放送局名が複数表示された場合

同じ放送を複数の場所から放送している放送局がある場合、受信できた分だけリストに表示されます。視聴するときの受信状態によって使いわけたり、不要なものは削除するなどしてください。

5 ワンタッチ選局キーの割り当てを確認する



W-ZERO3[es] 本体のテンキーを使ってチャンネルを切り替える、ワンタッチ選局キーの割り当てを確認します。キー番号を変更する場合は以下の操作を行います。

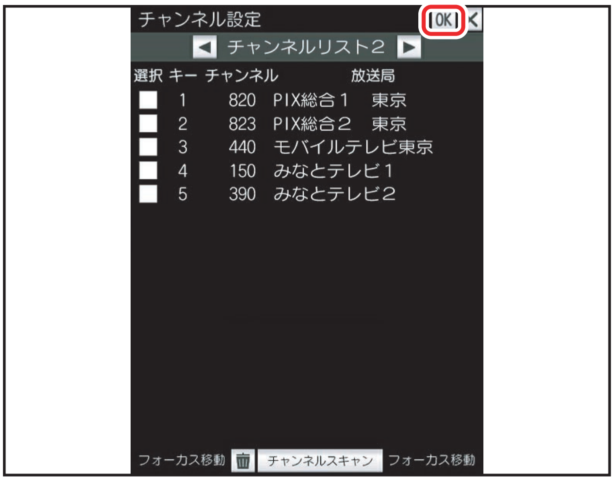
タップ操作では

[キー] の列をタップして、ドロップダウンリストからキー番号を選択します。

キー操作では

変更する [キー] が選択されている状態で、割り当てたい番号をテンキーから入力します。

6 チャンネルリストを確定する



[OK] ボタンをタップします。

※ 作成したチャンネルリストが有効になった状態で、元の視聴画面に戻ります。

[✕] ボタンをタップすると

[✕] ボタンは、「チャンネル設定」画面で行った操作をキャンセルし、元の視聴画面に戻ります。チャンネルスキャンの結果や、変更／修正内容などは保存されませんのでご注意ください。

以上でチャンネルリストの作成は終了です。

チャンネルリストを編集中に、別のチャンネルリストに移動すると

チャンネルリストを編集中に、[◀][▶] ボタンで別のチャンネルリストに移動しようとすると、「リストの情報は更新されています。保存しますか？」と、メッセージが表示されます。

ここで [はい] を選択し保存した場合、後に [✕] ボタンでキャンセルしても、保存した内容まではチャンネルリストに反映されています。

既存のチャンネルリストを再スキャンすると

すでに設定しているチャンネルリストを選んで、[チャンネルスキャン] ボタンをタップすると、既存のチャンネルリストに、新たにスキャンしたチャンネルが追加されます。不要なチャンネルがあればスキャンの後、削除してください。

チャンネルリストを初期化するには

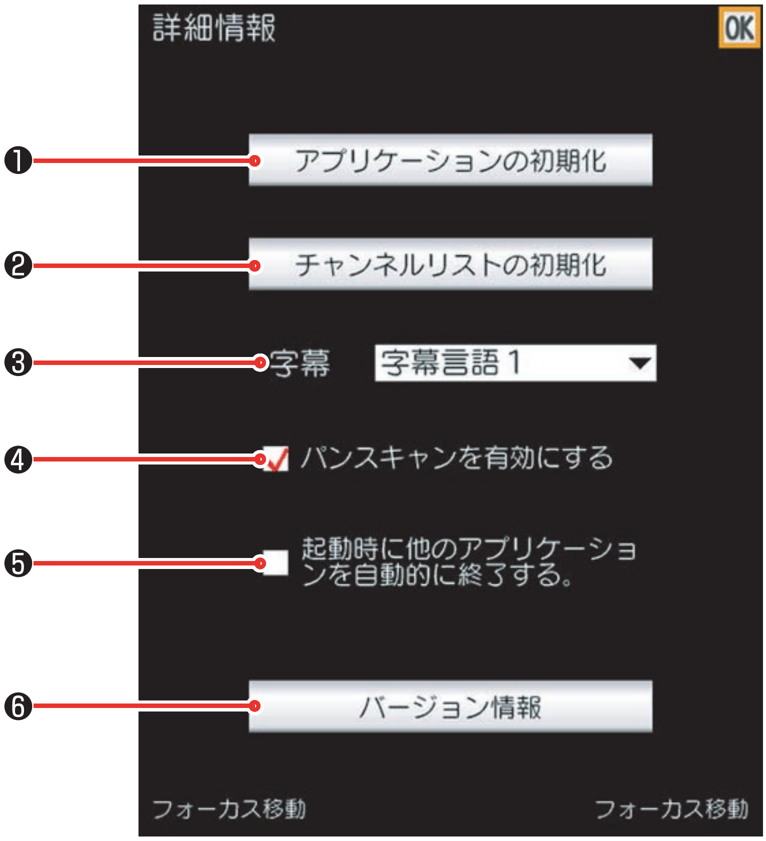
設定したすべてのチャンネルリストを初期化するには、「その他の設定（詳細情報画面）P39」をご参照ください。

その他の設定（詳細情報画面）

「詳細情報」画面で各種の詳細設定ができます。

「詳細情報」画面を表示するには、表示モード切替バーの [字幕] ボタンをタップし、「字幕・操作表示モード」に切り替えてから、[ ] ボタンをタップします。

「詳細情報」画面

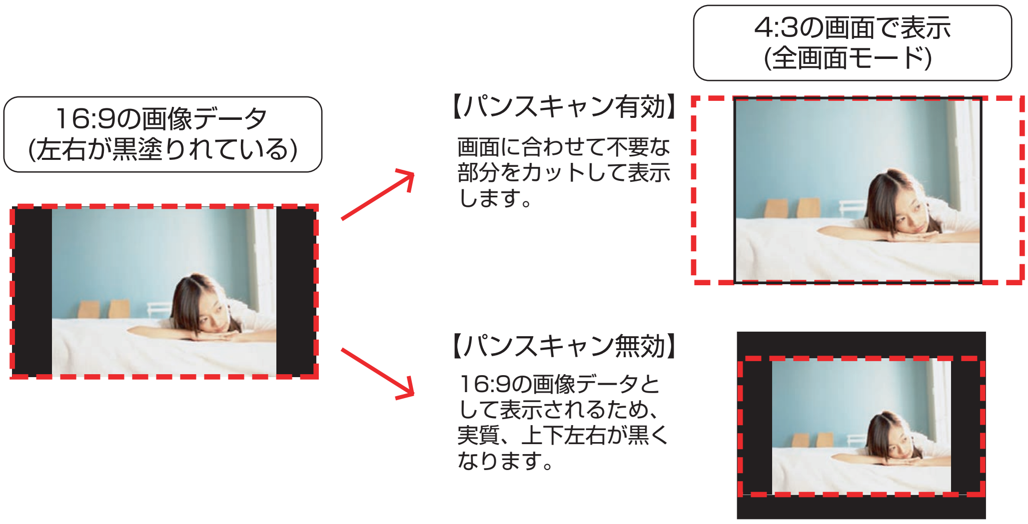


番号	名称	説明
❶	[アプリケーションの初期化]	アプリケーションの設定内容を出荷時の状態に戻します。 [アプリケーションの初期化] を実行すると、「StationMobile」が自動的に終了します。次回起動時は初回起動時の設定が必要になります。
❷	[チャンネルリストの初期化]	チャンネルスキャンによって作成された、すべてのチャンネルリストを初期化します。
❸	[字幕]	字幕情報が含まれている番組で、字幕言語が 2 つある場合は、言語の選択ができます。初期設定では [字幕言語 1] が適用されています。
❹	[パンスキャンを有効にする]	パンスキャンを行なうかどうか設定します。 パンスキャンとは、ディスプレイのサイズに合わせ、映像の一部をカットして表示させることをいいます。 初期設定ではパンスキャンが適用されています。
❺	[起動時に他のアプリケーションを自動的に終了する]	「StationMobile」を起動するときに、すでに起動している他のアプリケーションを終了するかどうかの確認画面が表示されます。この設定を適用すると、確認画面を表示せずに起動中のアプリケーションを終了し、「StationMobile」を起動します。
❻	[バージョン情報]	「StationMobile」のバージョンを表示します。「StationMobile」のアップデートの際などに、現在のバージョンを確認します。

パンスキャンについて

地上デジタルテレビ放送では、左右あるいは上下に余白を作ることで、16:9 の映像を 4:3 の画面内に、もしくは 4:3 の映像を 16:9 の画面内に、擬似的に映像を表示している場合があります。
この場合、画面と映像のサイズが異なることを示す情報 (パンスキャン情報) が含まれている映像については、[パンスキャンを有効にする] をオンにすると、余白がカットされた適切な映像サイズで視聴することができます。

※ 一部の映像ではパンスキャン情報が含まれず、パンスキャン機能が適用されない場合があります。



付録

困ったとき

<table>
<tr><th>内　容</th><th>回　答</th></tr>
<tr><td>StationMobile をインストールする時、ActiveSync が接続されていても､自動で「StationMobile」のコピーが実行されない。</td><td>インストールに使用するパソコンの OS が、Windows XP Professional ／ Home Edition ともに Service Pack1 の場合、ActiveSync のメニューから手動で操作する必要がります。
本書の P16-[5] ❺の手順が完了したのち、ActiveSync のメニューから [ツール]-[アプリケーションの追加と削除] を選択すると、コピーが開始されます。</td></tr>
<tr><td>「StaionMobile」を起動すると、「チューナーユニットが認識できません。チューナーユニットが正しく接続されているか確認してください。」のエラーメッセージが表示される。</td><td>チューナーユニットが正しく装着されていない可能性があります。再度取り付け直してください。
また、W-ZERO3[es] のファームウェアが最新でない場合はアップデートしてください。</td></tr>
<tr><td>チャンネルスキャンに失敗する、または受信できるはずの放送局が登録されない。</td><td>場所を変えるか、または付属の接続ケーブルを使用して、再度チャンネルスキャンを行ってください。電波の届きにくい地域や、遮へい物のある場所ではスキャンが正常に行えない場合があります。</td></tr>
<tr><td>ワンセグ放送視聴中、電波が途切れ途切れになる。または視聴できない。</td><td>遮へい物の無い場所、室内でも窓際など電波の届きやすい場所などに移動してください。また、付属の接続ケーブルもあわせてご利用ください。</td></tr>
<tr><td>「StationMobile」が起動しない。</td><td rowspan="2">以下の内容を順にお試しください。
1. チューナーユニットを取り付けなおしてから「StationMobile」を起動しなおす。
2. W-ZERO3[es] をリセット（再起動）する。
※リセットの方法は W-ZERO3[es] 付属のマニュアルをご参照ください。
3.「StationMobile」を再インストールする。
※アンインストール方法「P16」および「P18」、インストール方法「P13」をご参照ください。

連続してボタンをタップするなどの操作は、システムビジーの原因になる場合があります。操作はゆっくり確実に行なうことをおすすめいたします。</td></tr>
<tr><td>「StationMobile」がフリーズしてしまった。</td></tr>
<tr><td>「StationMobile」を起動しようとすると、「必要なファイルが見つかりません。」とエラーメッセージが表示される。</td><td>「StationMobile」のプログラムが正常にインストールされていません。再インストールしてください。
※アンインストール方法「P16」および「P18」､インストール方法「P13」をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>「StationMobile」が異常終了した後、W-ZERO3[es] 本体のキーボードを出したときに「画面の向きを横表示にする」機能が動作しなくなった。</td><td>「キーボードを出す時の画面の向き」を再度設定してください。[スタート]-[設定]-「システム」タブ内 -[ユーティリティー]-「縦横表示切替」タブから設定できます。</td></tr>
<tr><td>「StationMobile」が異常終了した後、W-ZERO3[es] 本体のバックライトに関する設定が無効になっている。</td><td>「バックライト」の設定を再度行ってください。[スタート]-[設定]-「システム」タブ内 -[バックライト] から設定できます。</td></tr>
<tr><td>チューナーユニットを W-ZERO3[es] に接続したとき、「ピコン」と音がする。</td><td>W-ZERO3[es] がチューナーユニットを認識できない場合に起こります。この場合、リセット (再起動) が必要になります。
※リセットの方法は、W-ZERO3[es] 付属のマニュアルをご参照ください。</td></tr>
</table>

内 容	回 答
音が出ない。	安全運転モードが有効になっている場合、「StationMobile」は音量を操作することができません。 安全運転モードを解除してから「StationMobile」を起動してください。
	マナーモードのシステム音が OFF になっている場合、「StationMobile」は音量を操作することができません。 マナーモードのシステム音を ON にするか、マナーモードを解除してから「StationMobile」を起動してください。

こんなときは？

内 容	回 答
「StationMobile」使用中に W-ZERO3[es] 本体のバッテリー残量が低下した場合。	バッテリー残量が低下した場合、メッセージが表示され、「StationMobile」が自動的に終了します。(「実行中のプログラム一覧」にも残りません。)
ワンセグ放送視聴中 (「StationMobile」起動中) に、電話が入った。	「StationMobile」起動中に電話が入ると、「StationMobile」は自動的に終了します。(「実行中のプログラム一覧」にも残りません。)
ワンセグ放送視聴中 (「StationMobile」起動中) に、Email が入った。	「StationMobile」起動中に Email の着信があると、「StationMobile」は自動的に終了します。(「実行中のプログラム一覧」にも残りません。)
ワンセグ放送視聴中 (「StationMobile」起動中) に、ライトメールが入った。	「StationMobile」起動中に、ライトメールの着信があっても、「StationMobile」は終了しません。
ワンセグ放送視聴中 (「StationMobile」起動中) に、W-ZERO3[es] 本体の [PWR HLD](電源 / 終話キー) や、[ ](通話キー) を押した。	「StationMobile」起動中に、[PWR HLD](電源 / 終話キー) や、[ ](通話キー) を押すと、「StationMobile」は自動的に終了します。(「実行中のプログラム一覧」にも残りません。)
ワンセグ放送視聴中 (「StationMobile」起動中) に、他のアプリケーションを起動するキーを押した。 ([クリア](クリア /IE キー)、[文字](文字 / メールキー) を長押しするなど)	「StationMobile」起動中に他のアプリケーションが実行されると、「StationMobile」は自動的に終了します。(「実行中のプログラム一覧」にも残りません。)
W-ZERO3[es] のバッテリ消費を、できるだけおさえたい。	W-ZERO3[es] に USB 機器を取り付けると、機器を使用しないときでも、W-ZERO3[es] はスタンバイモードへ移行しなくなり、常に微力の待機電力が消費されます。 ワンセグ放送を視聴しない時は、チューナーユニットを W-ZERO3[es] 本体から取り外しておくと、その分バッテリの節約になります。

仕様一覧

ハードウェア仕様一覧

■ ワンセグチューナーユニットおよびロッドアンテナ

仕向地	日本		
受信チャンネル	地上デジタルテレビジョン放送 UHF ch13 〜 ch62(1 セグメント)		
伝送規格	地上デジタルテレビジョン放送 ISDB-T		
接続端子	USB 端子	USB 準拠	
		コネクタ形状	Mini-A Plug (5 ピン)
	アンテナ入力端子	2.5 φミニジャック× 1	
電源電圧	DC5V	W-ZERO3[es] の USB バスパワーから供給	
消費電流	118mA（最大）		
使用温度	0 〜 40° C	結露なきこと	
外形寸法	(高さ) 約 52.2mm × (幅) 約 87.0mm × (最薄部厚さ) 約 6.8mm (突起部を除く)		
質量	約 31g (本体のみ。ロッドアンテナ含まず)		

サポート情報

ユーザーサポートについて

本製品についてのご質問・ご相談は、下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

■ ピクセラ ユーザーサポートセンター

TEL:　0570-02-3500
FAX:　06-6633-2992

〒 556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスタワー 25F

受付時間 : 月曜日〜金曜日
10:00 〜 13:00、14:00 〜 17:00
(年末年始、土日祝、弊社指定休日は除く)

ホームページついて

製品の最新情報やダウンロードなどは、弊社ホームページをご覧ください。

■ ピクセラ ホームページ

http://www.pixela.co.jp/

著作権に関する注意

本ソフトウェアの一部に次の条件下のモジュールが含まれています。

・"This software module was originally developed by AT&T, Dolby Laboratories, Fraunhofer Gesellschaft IIS in the course of development of thehttp://www.fmct.fujitsu.com/archive/product/tsworks/readme.html, 14496-1,2 and 3. This software module is an implementation of a part of one or more MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio tools as specified by the MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio standard. ISO/IEC gives users of the MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio standards free license to this software module or modifications thereof for use in hardware or software products claiming conformance to the MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio standards. Those intending to use this software module in hardware or software products are advised that this use may infringe existing patents. The original developer of this software module and his/her company, the subsequent editors and their companies, and ISO/IEC have no liability for use of this software module or modifications thereof in an implementation. Copyright is not released for non MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio conforming products.The original developer retains full right to use the code for his/her own purpose, assign or donate the code to a third party and to inhibit third party from using the code for non MPEG-2 NBC/MPEG-4 Audio conforming products. This copyright notice must be included in all copies or derivative works." Copyright(c)1996.

・SC 29 Software Copyright Licencing Disclaimer: This software module was originally developed by Coding Technologies and edited by PIXELA CORPORATION in the course of development of the ISO/IEC 13818-7 and ISO/IEC 14496-3 standards for reference purposes and its performance may not have been optimized. This software module is an implementation of one or more tools as specified by the ISO/IEC 13818-7 and ISO/IEC 14496-3 standards. ISO/IEC gives users free license to this software module or modifications thereof for use in products claiming conformance to audiovisual and image-coding related ITU Recommendations and/or ISO/IEC International Standards. ISO/IEC gives users the same free license to this software module or modifications thereof for research purposes and further ISO/IEC standardisation. Those intending to use this software module in products are advised that its use may infringe existing patents. ISO/IEC have no liability for use of this software module or modifications thereof. Copyright is not released for products that do not conform to audiovisual and imagecoding related ITU Recommendations and/or ISO/IEC International Standards. The original developer retains full right to modify and use the code for its own purpose, assign or donate the code to a third party and to inhibit third parties from using the code for products that do not conform to audiovisual and image-coding related ITU Recommendations and/or ISO/IEC International Standards.This copyright notice must be included in all copies or derivative works. Copyright (c) ISO/IEC 2002.

・This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

OpenSSL License

==

Copyright (c) 1998-2004 The OpenSSL Project. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==

・This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson(tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as

the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list ofconditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]